

## 2009年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試 (第一次日程) : 筆記試験 (教職教養) )

# 問題用紙

### 注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。  
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。  
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章の空欄（A）～（C）にあてはまる語句を選んで、解答欄に記号を書きなさい。

（A）とアテナイは、古代ギリシャを代表するポリスである。（A）では、独特の軍国主義・全体主義に基づく集団主義的な教育と市民生活が営まれていた。他方、アテナイは海外貿易による商業国家として発展し、市民による直接民主主義が行われていた。アテナイでは、（B）の英雄叙事詩が青少年のための教材として重視され、（C）などのような知恵、武勇、雄弁、人間性などに卓越した「美にして善なる人」が教育的理想像とされた。

- |     |           |          |             |
|-----|-----------|----------|-------------|
| （A） | ア．ローマ     | イ．イオニア   | ウ．スパルタ      |
| （B） | ア．ホメーロス   | イ．ソクラテス  | ウ．ペリクレス     |
| （C） | ア．オデュッセウス | イ．ピュタゴラス | ウ．アレクサンダー大王 |

問2. ①～⑤の語句に関する説明文として、誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①藩校＝江戸時代に発達した武士階層を対象とした教育機関で、教育内容は漢学を主とし、「四書」「五教」などを主なテキストとしていた。
- ②スコット＝文部省は1872（明治5）年に師範学校を設けたが、江戸時代の個人教授の教授法の形式を改め、アメリカ人スコットを教員として採用し、学級教授法を導入した。
- ③「教育令」＝1879（明治12）年に「学制」を廃止して公布され、それまでの画一的な中央集権制を改め、教育の権限を地方に委ねた。このため、当時「自由教育令」とも呼ばれた。
- ④「教育ニ関スル勅語」＝1890（明治23）年に制定され、天皇制国家における国民思想を示した勅語で、戦前日本の教育の基本方針として極めて重大な役割を果たした。
- ⑤国定教科書制度＝1903（明治36）年に、従来の検定教科書制度を改め、小学校・中学校・師範学校の教科書をすべて国定教科書とした。国定教科書の著作は、文部省が行った。

問3. 次の①～⑤は、大正期を中心とした自由教育運動に関する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- |              |                  |              |
|--------------|------------------|--------------|
| ①沢柳政太郎＝成城小学校 | ②野口援太郎＝池袋児童の村小学校 |              |
| ③及川平治＝文芸教育論  | ④木下竹次＝合科教授       | ⑤鈴木三重吉＝『赤い鳥』 |

問4. 戦後の教育に関する事項を時代順に並べたものとして正しいものを、①～⑤の中から1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- (a)教育刷新委員会の設置 (b)道徳の時間の特設 (c)中央教育審議会の設置  
(d)学校教育法の公布 (e)アメリカ教育使節団(第1次)の来日

- ①(e)→(a)→(b)→(c)→(d) ②(e)→(a)→(d)→(c)→(b) ③(a)→(e)→(d)→(b)→(c)  
④(d)→(a)→(e)→(c)→(b) ⑤(a)→(e)→(c)→(b)→(d)

問5. 以下は、日本の教育法規の一部である。( )に入る適切な語句(1語とは限らない)を解答欄に書きなさい。

- (1) 教育は人格の完成を目指し、( )国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。  
(2) 小学校の教育課程については、この節に定めるもののほか、教育課程の基準として文部科学大臣が別に公示する( )によるものとする。  
(3) 校長及び教員が児童等に懲戒を加えるに当たっては、児童等の( )に応ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。  
(4) 教育公務員には、( )を受ける機会が与えられなければならない。  
(5) 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校のうちその指定する学校……の運営に関して協議する機関として、当該学校ごとに、( )を置くことができる。

問6. 以下の3つの問いについて、あてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- (1) 職業と性格をマッチングさせることによる職業選択理論 RIASEC を唱えたのはだれか。

a.ワイナー b.スーパー c.クルト・レヴィン d.ホランド e.エリクソン

- (2) 動物が自発的に環境にはたらきかけた結果行動が変化することをなんというか。

a.内発的動機付け b.自主性 c.オペラント条件付け d.誘因 e.古典的条件付け

- (3) 平成17年に施行された「発達障害者支援法」の対象にならないのはどれか。

a.アスペルガー障害 b.自閉症 c.知的障害 d.注意欠陥多動性障害 e.学習障害

問7. 以下の（A）～（D）のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域（A）

- 消極教育
- 系統学習

領域（B）

- 森 有礼
- 『学習指導要領（一般編）』（昭和22年刊行）

領域（C）

- 職員会議
- 義務教育費国庫負担制度

領域（D）

- 学習障害
- 均衡理論